

不法投棄について

2010 年以降（2010 年～2024 年）でごみ処理有料化を導入した 62 都市では、1 リットルあたりの価格 2.0 円以上が 14 市・22.6%、1.0 円超 1.5 円未満が 12 市・19.4%、1 円が 18 市・29.0%、0.5 円超 1.0 円未満が 12 市・19.4%、0.5 円以下が 6 市・9.6%、となっています。

不法投棄は、2.0 円以上の価格帯で「減少した」が 35.7%で最も多く、それ以外の価格帯では、「ほとんど変わらなかった」が 41.7%から 83.3%で最も多くなっています。

表 1 有料化導入後の不法投棄の変化（2010 年度以降有料化導入 62 市）

区 分 \ 価格帯	0.5 円以下 (N=6)		0.5 円超 1.0 円未満 (N=12)		1.0 円 (N=18)		1.0 円超 1.5 円未満 (N=12)		2.0 円以上 (N=14)	
減少した	0	0.0%	1	8.3%	2	11.1%	1	8.3%	5	35.7%
ほとんど変わらなかった	5	83.3%	8	66.7%	12	66.7%	5	41.7%	3	21.5%
少し増加したが、1～2 年で元の水準に戻った	1	16.7%	2	16.7%	0	0.0%	1	8.3%	4	28.6%
大きく増加したが、1～2 年で元の水準に戻った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	1	7.1%
大きく増加し、3 年以上 高い水準が続いた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他・不明	0	0.0%	1	8.3%	4	22.2%	3	25.0%	1	7.1%
計	6	100.0%	12	100.0%	18	100.0%	12	100.0%	14	100.0%

（出典）本市調査（2024 年 8 月）

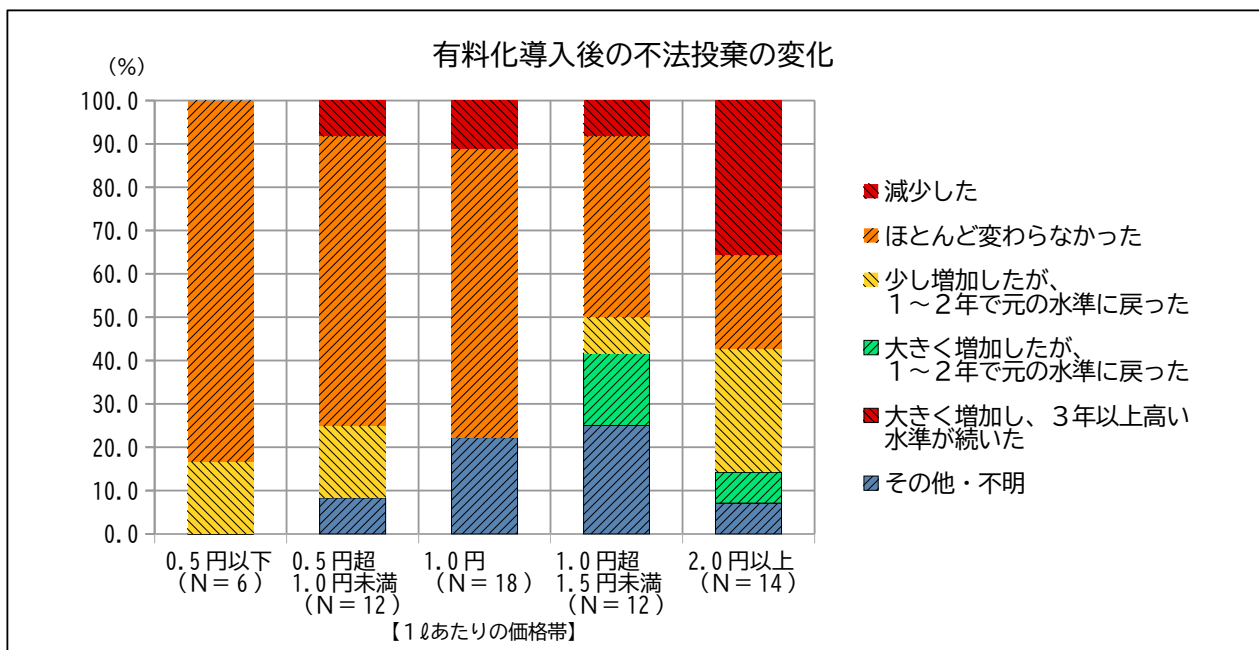


図 1 有料化導入後の不法投棄の変化（2010 年度以降有料化導入 62 市）

（出典）本市調査（2024 年 8 月）